

第105期 中間報告書

2019年4月1日から2019年9月30日まで

岩崎電気株式会社 証券コード：6924

Top Message

トップメッセージ

代表取締役社長

伊藤 義剛



高は好調に推移しました。また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けたインフラ整備や再開発事業の需要を背景に、景観、演出などの屋外用照明器具や高天井などの屋内用照明器具も売上高は堅調に推移しました。

一方、海外では、北米における事業の合理化策を推進したことにより、前年同期と比べ、売上高は微増となり、利益面でも改善しました。

光・環境事業においては、さまざまな「ひかり」の技術を応用することで、「UV/EBキュア事業」「環境試験関連事業」「殺菌関連事業」の3つの事業を柱として展開してまいりました。

UV/EBキュア事業では、UV-LED照射装置や小型電子線照射装置など新商品の拡販推進を行い、環境試験関連事業でも試験機器や自動車関連技術を対象とした展示会に出展し、新型のキセノンテスターや複合環境試験装置の市場訴求を図りました。UVキュア事業は、FPD関連や印刷機器関連が堅調に推移しましたが、環境試験関連事業および殺菌関連事業においては、前年同期並みの売上高となりました。また、情報機器事業では、道路情報板関連の件名納入があり、売上高は増加となりました。

弊社はこの度、本社を東京都中央区東日本橋に移転し、ショールームを日本橋久松町にリニューアルオープンいたしました。主に得意先様を対象とした特別内覧会では、新商品を含めた展示を行い、新たな提案をさせていただき、ご好評をいただきました。弊社は屋外照明が主力のため、お客様が直接手にする機会が少ない商品が多く、このような機会を通じて、弊社商品を身近に見ていただき、お客様とともに商品をつくりあげていきたいと考えており、お客様の問題解決に貢献してまいります。

弊社は今年8月、創立75周年を迎え、今後も持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2020年3月期第2四半期における当社グループの業績は、前年実績と比べ、売上高、利益面ともに改善いたしました。

事業別に申し上げますと、まず、照明事業では、施設照明・産業照明分野において、独自性のある商品提供と周辺事業を含めたトータルソリューションビジネスを推進してまいりました。

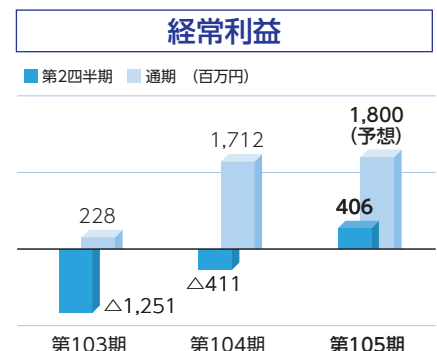
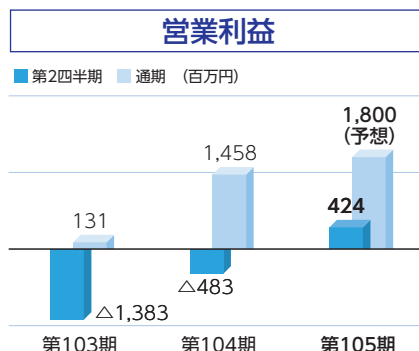
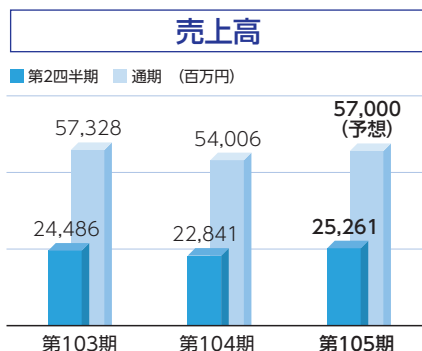
LEDの特性を活かす制御関連技術を駆使した商品開発や、レーザー光源を用いた投光器の開発などに取り組み、新商品のリリースを行いました。

併せて、さまざまな景観への調和を可能とした省施工形の街路用照明器具のラインアップ増強を図りました。

これら新商品の市場訴求を積極的に行ったことなどにより、国内では、地方自治体などの照明改修事業を中心に、街路用照明器具、道路用照明器具の売上

第2四半期決算

過去の業績の推移は次のとおりとなっております。また、当社グループの売上高、利益は期末に集中する季節的傾向があり、各四半期の売上高および利益は、通期実績の水準に比べ乖離が大きくなっております。



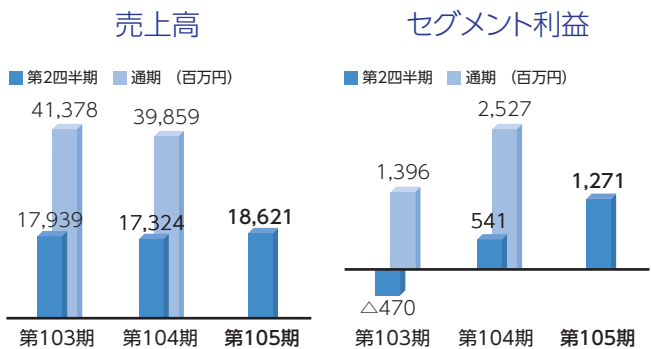
セグメント情報

照明事業

照明事業では、LEDの特性を活かす制御関連技術を駆使した商品開発、レーザー光源を用いた投光器の開発等に取り組み、新商品のリリースを行いました。さまざまな景観への調和を可能とした省施工形の街路用照明器具は、ラインアップの増強を図りました。これら新商品の市場訴求を積極的に行ったこと等により、国内では、地方自治体等の照明改修事業を中心に、街路用照明器具、道路用照明器具の売上高は好調に推移しました。東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けたインフラ整備や再開事業の需要を背景に、景観、演出等の屋外用照明器具や高天井等の屋内用照明器具も、売上高は堅調に推移しました。

また、海外では、北米における事業の合理化策を推進したことにより、前年同期と比べ、売上高は微増となり、利益面でも改善しました。

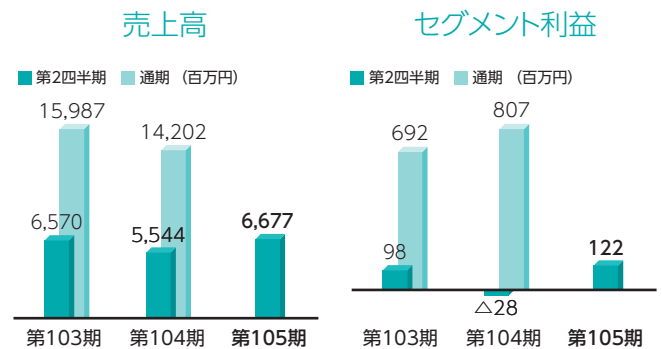
これらの結果、売上高は18,621百万円(前年同期は17,324百万円で7.5%の増加)、セグメント利益は1,271百万円(前年同期は541百万円で134.7%の増加)となりました。



光・環境事業

光・環境事業では、UV/EBキュア事業はUV-LED照射器、小型電子線照射装置等新商品の拡販推進を行い、環境試験関連事業でも試験機器、自動車産業機器を対象とした展示会に出展し、新型のキセノンテスターや複合環境試験装置の市場訴求を図りました。UVキュア事業では、FPD関連、印刷機器関連が堅調に推移しましたが、環境試験関連事業および殺菌関連事業では、前年同期並みの売上高となりました。情報機器事業では、道路情報板関連の件名納入があり、売上高は増加となりました。

これらの結果、売上高は6,677百万円(前年同期は5,544百万円で20.4%の増加)、セグメント利益は122百万円(前年同期はセグメント損失28百万円で151百万円の改善)となりました。



連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	第105期(当期) 第2四半期末 (2019年9月30日現在)	第104期(前期) 期末 (2019年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	40,480	43,832
固定資産	23,260	23,455
資産合計	63,740	67,288
負債の部		
流動負債	15,676	18,384
固定負債	21,159	21,966
負債合計	36,835	40,350
純資産の部		
株主資本	24,452	24,524
その他の包括利益累計額	2,437	2,396
非支配株主持分	14	16
純資産合計	26,904	26,937
負債純資産合計	63,740	67,288

連結損益計算書

(単位:百万円)

	第105期(当期) 第2四半期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	第104期(前期) 第2四半期 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
売上高	25,261	22,841
売上総利益	7,722	6,982
営業利益	424	△483
経常利益	406	△411
税金等調整前四半期純利益	416	△402
四半期純利益	293	△383
親会社株主に帰属する 四半期純利益	294	△384

ショールームi Labo (アイラボ) リニューアルオープン



弊社のショールームi Labo (アイラボ)はこの度、東京都中央区日本橋久松町に移転し、リニューアルオープンいたしました。

スポーツ施設照明や高天井用照明、街路照明などが並び、新商品のレーザー投光器や屋外用スポットライトなども展示しております。また、実際に商品を点灯し、明るさをご確認できる実験ルームも設けております。



また、紫外線や環境シミュレーション技術といった光・環境事業の製品を模型で紹介し、弊社製品を身近に感じていただく工夫を施しております。

10月には、当ショールームにおいて、主に得意様を対象とした特別内覧会を実施し、新商品の展示を含め、新たなご提案をさせていただきました。

弊社のショールームにお越しいただき、あかりとひかりを体感いただければ幸いです。

弊社の情報は www.iwasaki.co.jp

岩崎電気の
あかり
と
ひかり

昭和電工武道スポーツセンター(大分県立武道スポーツセンター) 大分県大分市 木の香りに包まれた品格あるスポーツ施設を フレキシブルな点灯パターンが可能な照明で照らし、質の高い照明環境を創出

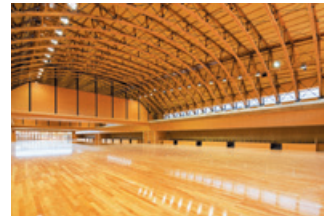


縦81m、横40m(最大幅45m)の競技エリアとオープンスペースを備えている多目的競技場を快適に照らす照明器具はLED高天井用照明器具「レディオック ハイベイ アルファ 320W」

「レディオック ハイベイ アルファ 320W(中角タイプ)」を使用しています。無線個別調光照明制御システムFIT LCの採用により、照明器具1台レベルでの制御が可能になったため、全点灯からレクリエーションレベルまで使用目的に応じてさまざまな点灯パターンをタブレットで簡単に設定出来るので、非常に使い勝手が良くフレキシブルな運用が可能な点を評価しています。武道場を照らす照明器具には「レディオック ハイベイ アルファ 320W(広角タイプ)」に加え、「レディオック フラッド デュエル 560Wタイプ」を設置し、均斉度の高い良好な照明環境を創出しました。

昭和電工武道スポーツセンター(大分県立武道スポーツセンター)は、大分県の県営運動公園である大分スポーツ公園内に、2019年4月に完成した武道スポーツセンターです。大規模大会も開催可能な武道をはじめとする屋内スポーツの拠点とすること、県民の誰もが気軽に利用できる施設とすること、トップリーグ公式戦や各国代表の合宿開催によるスポーツ観光の拠点とすること、大規模災害に備えた広域防災拠点の中核施設とすることを基本理念として建設されました。武道競技が8面取れる約3,570m²の広さを持つ多目的競技場と、武道専用の道場が3面ある競技面積約2,410m²の武道場に加え、トレーニングルーム、会議室など充実した施設を備えています。施設の天井は木造のアーチトラス構造を採用し、構造用製材として県産スギを活用した無垢材としては日本最大級の大スパン(約70m)の屋根架橋化を図ることで温かみのある大空間を実現しました。

照明設備については、大規模大会も開催可能な屋内スポーツの拠点とすることという基本理念に基づき、武道以外にもバレーボールやバスケットボール、バドミントンなどさまざまな競技が行われる多目的競技場は国際大会の開催基準を満たすよう最高照度1500lx、武道場は最高照度1000lxを基本として照明設計を行いました。多目的競技場の照明器具にはLED高天井用照明器具



「レディオック ハイベイ アルファ 320W(広角タイプ)」に加え、「レディオック フラッド デュエル 560Wタイプ」を設置して、均斉度が高くムラのない良好な照明環境を創出している

超促進耐候性試験機を設置した新テストラボの開設

弊社では、耐候性試験機が光・環境事業の主力商品のひとつとなっています。

2019年5月、アメリカ合衆国オハイオ州に拠点を置くグループ会社EYE LIGHTING INTERNATIONAL OF NORTH AMERICA, INC. (ELINA)に新たにテストラボを開設しました。

メタルハライドランプ方式の耐候性試験機は日本市場で多くの納入実績がありますが、国際的試験規格の多くがキセノンランプ・紫外線蛍光灯の耐候性試験機を採用しているため、北米市場では「新技術」という位置づけにあります。

メタルハライドランプ方式は、キセノンランプ方式に比べて10倍、屋外暴露に比べ100倍の促進性があるため、スクリーニング試験ツールとして使用いただくことで、試験時間を短縮できる大きなメリットがあります。テストラボにメタルハライドランプ方式の耐候性試験機「アイ スーパーUVテスター」(SUV-W161)を用意することで、お客様にテスト結果を得る時間が大幅に短縮できることを直に経験していただきます。

新しいテストラボには、メタルハライドランプ方式のアイ スーパーUVテスター:SUV-W161 2台の他に、キセノンランプ方式である高強度の試料ホルダを備えたXER-W75とASTM D7869などの国際試験規格での試験が可能なXER-W83各1台の合計4台が設置されています。

テストラボを訪れたお客様に用途に合わせた試験機を提案し、経験していただくことで、北米市場のみならず海外市場での岩崎電気の耐候性試験機に対する認知度向上を進めてゆきます。



テストラボ正面入り口



テストラボ装置設置状況

会社概要 (2019年9月30日現在)

商号	岩崎電気株式会社 IWASAKI ELECTRIC CO., LTD.
本社・ショールーム	〒103-0004 東京都中央区東日本橋一丁目1番7号
拠点	工場3箇所、営業所・事務所41箇所
設立	1944年8月18日
資本金	8,640,598,473円
事業内容	各種光源、照明器具、光環境機器(紫外線・赤外線・電子線応用)等の製造および販売 ■光源 セラミックメタルハライドランプ、LEDランプ、ハロゲン電球、紫外線殺菌ランプ等 ■照明器具 道路用照明、屋外施設用照明、屋内施設用照明等 ■光環境機器 紫外線殺菌、赤外線加熱、電子線照射、植物育成等
従業員数	1,900名(連結)

株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	23,900,000株
発行済株式の総数	7,821,950株 (自己株式51,571株を含む)
株主数	7,811名

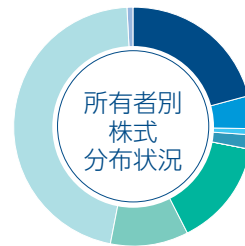
大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	310	4.00
ミネベアミツミ株式会社	300	3.86
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	211	2.72
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	209	2.70
岩崎電気協会持株会	198	2.55
株式会社みずほ銀行	183	2.37
明治安田生命保険相互会社	180	2.32
アイランプ社員持株会	171	2.20
株式会社三井住友銀行	168	2.17
日本土地建物株式会社	154	1.99

(注) 持株比率は、自己株式51,571株を控除して計算しております。

取締役および監査役 (2019年9月30日現在)

代表取締役社長	伊藤 義 剛
取締役	加藤 昌 範
取締役	有松 正 行
取締役	稲森 真
取締役	上原 純 夫
社外取締役	大屋 健 二
社外取締役	田内 常 夫
常勤監査役	藤井 英 哉
常勤監査役	加藤 浩 昭
社外監査役	渡邊 正 三
社外監査役	鈴木 直 人



(注) 上記2つのグラフ数値には、単元未満株主を含んでいます。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告 (https://www.iwasaki.co.jp/corporate/ir/koukoku/) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝祭日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店(住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等	みずほ証券 本店、全国各支店プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジでは、お取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店(みずほ証券では取次のみ)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。